

平成23年度

# 自主汗学

平成23年7月20日  
半田市立青山中学校  
第9号  
学校だより

## 1学期をふりかえって ～夏休みの目標～

### 【終業式 校長式辞 概要】

入学始業式の時に、「汗で学べ」の7つの生活指針のお話をしました。しっかりと実践できたでしょうか。この生活指針は、私たち青中生の大切な目標です。2学期以降も、指針の実現に向けてがんばりましょう。

さて、明日から夏休みとなります。次の2つのことに心がけて、よい夏休みとしましょう。

1つ目、それは、「夏休みだからできることをしっかり実践してほしい」ということです。たとえば、3年生は専修学校や高校の体験入学に、2年生は職場体験学習に、そして、1年生は部活動に、という具合に、夏休みでなければできないことにしっかり挑戦しましょう。

そして、もう一つ。「自分を大切にする」ということ。事故やケガに気をつけることはもちろんのこと、誘惑や怠け心に負けずに生活してほしいと思います。当然のことですが、夏休みが終われば、普通の学校生活が再開されます。そのときになって、困ることのない生活をしていきましょう。

9月1日、みなさんと再会できることを楽しみにしています。よい夏休みを。



### 1学期を終えて

僕はこの中三のスタートで、他の人に差がついてしまったと思いました。中二の終わり頃から、親や周りの人に「受験生だし、がんばらないといけないよ」と言われてきました。しかし、僕は春休みから何も準備することもなく三年生になってしまいました。

さすがに中三になり、新しいクラス、担任の先生になったので気が引き締まっていました。今までよりも勉強に対する姿勢はよくなりましたが、だらだらしていた2年生の時の自分にきっぱりと決着をつけることができずに、たまに気が抜けてしまいます。そのところで、3年生になる前から心構えをもっていた人との間に差ができてしまったと思ったのです。その差を埋めるチャンスなのがこの夏休みだと思います。

今年の夏休みでこだわりたいのは、勉強の量をこなすことです。今までの僕は量より質という考えでした。でも最近、量をこなすことが大事だと思えるようになってきました。理由は2つあります。一つ目は、基本がしっかり身につくと思ったからです。短い時間で効率よく勉強して頭では理解していても、体に染みつきはしないと思います。たくさん問題を解いていると、自然に答えが出てくるようになることを最近実感したからです。二つ目は、達成感がよりいっそう味わえる、ということです。例えば、長い時間、書いて覚えたりした勉強のあとで、見返してみると「自分はこんなにやったのかあ」という少ない時間の勉強では味わえない達成感が味わえると思うからです。

夏休みは、自分との戦いだと思います。まずは今までがんばってきた部活で精一杯のしめくくりをしたいです。そして、部活も引退してしっかりと勉強時間が確保できる大切な夏休みを十分に活かせるようにして、今までにはやれなかった提出物以外の自主的にやる勉強をしたりして、自分にウェイトをかけたいです。自分に打ち勝てるような有意義な40日を過ごして、この夏で自分をひとまわりもふたまわりも、成長できたらいいと思います。

### 3年代表

### 1学期を終えて

私たち二年生は、入学してからこれまでの一年半で多くのことができるようになりました。

例えば、始めの頃は移動教室の時椅子が出ていたり、机の上に物が置いてあったりしました。それが今では、学年運営委員会と先生方の呼びかけで、椅子をしまうことや、机の上に物を出したまま移動し

### 2年代表

ないという整理整頓が当たり前のようになっています。

その他にも、チャイムで授業が始められるように、チャイム前着席を心がけるようになってきました。

しかし、私たち二年生は、現在できることをそのまま継続してだけでなく、まだまだ成長していけると思っています。

そこで、この夏休みにも何か成長できることはないかと運営委員会で話し合い、「自分の立場を考えて行動しよう」という目標をかかげました。

私たち二年生は、この夏休みに職場体験を控えています。また、部活動では、三年生の先輩方が引退され、私たちが部活動を引っ張っていかなければならない、という立場に変わる夏休みです。

立場を意識する一つ目は、職場体験です。まだ「働く」ということがどういうことかよくわからない私たちでしたが、6月に「職業人の方のお話を聞く会」というものを経験しました。そこで私は、美容師の方の貴重な体験談を聞かせていただくことができました。美容師の方は高校を中退していて、今の仕事に就くまでにとっても苦労したとおっしゃっていました。職業人の方のお話を聞いて、私は「働く」ということがどのくらい大変で、つらいことなのかなど、少し分かったような気がしました。

職場体験は、その大変さや辛さを実際に味わうことのできる場です。しかし、このような貴重な体験をするためには、体験先の方々に、わざわざ時間をさいていただかなくてはなりません。ですから私たちは、体験させていただいているという立場をしっかりと理解し、感謝の気持ちを持ち、失礼のないように精一杯活動することを心がけます。

立場を意識する二つ目は、部活動です。郡大会までは私たち二年生が三年生の先輩方を全力で支え、郡大会後には私たちが三年生の代わりに部活動を引っ張っていくこととなります。郡大会までは三年生の先輩方を支える立場として、どうしたら三年生が安心して引退できるか、安心して私たちに部活動を任せてくれるかを考えて行動したいです。そして、郡大会後には私たち自身が、部活動を引っ張っていく立場として、どうしたら一年生が自分たちについてきてくれるか、どうしたら部活動全体がひとつにまとまるのか考え、新たなプレッシャーに立ち向かいながら、前向きな気持ちを強く行動に表していきたいと思います。



### 1学期の反省と、2学期に向けて

### 1年代表

初めて制服を着て青山中学校の門をくぐり、中学生になったことを実感した入学式から3カ月が過ぎました。4月に新しいクラスでの生活がスタートし、不安と緊張で胸がいっぱいでしたが、1年間生活を共にする仲間と自己紹介をしたり、担任の先生の話の聞いたりしながら、少しずつ青山中学校になれていきました。級訓を決めたり係分担を決めたり、初めてのことばかりでとても新鮮に感じたことを覚えていてます。

僕は、何か人の役に立ちたいと思い級長になり、学年運営委員長にも立候補をしました。僕には、自分のクラスはもちろんのこと、1年生全体を、「当たり前のことは当たり前で、何でも言い合うことができる仲間になりたい」という気持ちが強くあります。学年運営委員会では、先生と相談しながら司会を務め、みんなの意見をまとめることのむずかしさを実感しながらも、とてもやりがいを感じています。どのクラスの三役も自分のクラスをよくしたいという気持ちを強くもっているのも、僕も負けてはいられないと改めて思います。始めのころ、あいさつができていないことが多く、よく先生に指導されましたが、今では目上の方とすれ違う時には、だれもが先にあいさつができるようになり、日々成長しているのを感じています。

中学校は小学校とは違い、授業が教科担任制になり、個性豊かな先生方に専門的に教えていただけるので、毎時間楽しみます。また、部活動では直接先輩方とかかわりをもつことができます。礼儀正しく、一生懸命練習に打ち込む先輩たちの姿は、僕たちの目標です。運動会では、仲間と協力し、お互いに高めあい、「汗で学ぶ」ことを目標に取り組み、絆を深めることができました。クラスが一丸となって優勝目指して競い合うことで、クラスの輪が広がり、それぞれの思いが形になって成長することができたと思います。

級長の経験を通して、自分の成長を日々実感することができた1学期でした。

7月になり、青山祭や自然教室に向けて、少しずつクラスで話し合いをすることが増えてきました。みんなの意見をうまくまとめ、たくさんの思い出を作りたいです。

1年生の夏休みの学年目標は「つかめ。サマーDream」です。

一人一人が目標・夢に向かって努力を惜しまず、汗で学びながら過ごしてほしいという願いが込められています。1学期の生活を振り返り、2学期はより成長した自分になるように、最高の夏休みにしましょう。